

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

部門名： カリキュラム・マネジメント実践部門	エントリー名： 岡山県美咲町立加美小学校
活動名： 加美小学校MIRAI 改革 未来を見据えた学校イノベーション	
解決すべき課題： 本校は、これまでの成果でしだいに落ち着いた学校になってきたが、学力の伸び悩み、指示待ちの児童の様子、教職員の手立ての多さで成り立つ授業や行事、日々の忙しさと膨れ上がった教育課程と校務分掌で身動きがとれない状況だった。これを解決するには、前年度の練り直しの教育課程ではなく、これからの未来を考え、今一度本校の教育を根本から見直すカリキュラム・マネジメントが必要不可欠であった。	
目標・方針： 自分たちの叶えたい教育目標を、叶えるための教育課程と組織・運営に	
- 学校が児童にとって楽しい場所あり、安心して夢中になって学べる場所であることを目指し、児童に学びに向かう力と主体性を育む教育課程を創造する。そして、職員にとってもやりがいのある職場となる。 - 教職員が本校の課題を意識し未来を見据えた教育を面白がって創造していく無理のない話し合いのプロセスを設計し、効果のある豊かな教育課程を創り出すとともに、地域・保護者の理解を得て進めていく。	
活動内容： 未来を見据え、夢を語り、学び、希望に満ちて話し合った、加美小カリキュラム・マネジメント	
- 教職員自らの意識改革を行い、これまでの学校教育を抜本的に見直し、教育理念・カリキュラム・学校運営・組織・授業・特別支援教育・地域連携・働き方の 8 つの改革を進めた。 「加美 MIRAI ミーティング」「加美地域 MIRAI ミーティング」 ① 私たち加美小職員は、どんな教育を行えば、満足できると言えるのか、加美小の児童が未来を生きるためにどんな力をつけたいのか、本音で夢を語り合い、地域にもそれを問いかけ未来に向け出発。 ② 夢を現実にするために必要な新たな施策をこれまでの活動を一度すべてスクラップし、既存の学校常識や概念にとらわれず、自由に話し合い、生み出したり、リニューアルしたりし、話し合いで出たアイデアをカード等を使って調和、融合させて新教育課程を創造。 ③ 組織や会議の持ち方を改編し、目標の設定と、目標への達成度を重視した会議へリニューアル。	
活動の成果： 本年度の効果が期待されている内容の抜粋と職員の参画意識の変容	
- 様々な新しい取組が誕生したが、混乱することなく、全てが目標に向かっていくため、統一感がある。 - 取組例：◎子どもたちの自主性・主体性を育む活動を重視し、メタ認知を取り入れた学習活動、家庭学習の工夫『ミッションかならずポッシブル』等◎サーバントリーダーシップなど理論研修を職員で行い独自のリーダーブックを作るなど、リーダーの育成を重要課題に設定◎思考力育成プログラミング教育 C 分野導入◎コミュニケーションと人間性を育てる英語活動の研究◎小学生にとっての「遊び」の重要性に着目し、積極的な人間関係づくりを行う時程の大幅変更◎地域とのふれあいを見直す『ふるさとクラブ』の設立と総合的な学習の時間の見直し◎夢を叶えるための 3 年次計画と、年 4 回のカリキュラム推進会議（職員会議）や決めた目標を達成するための達成検証会議。◎ひとりひとりがリーダーになる新しい校務分掌への改編。等 - 職員が意欲的に学校経営に参画するようになり、平成 30 年度の職員アンケートでは、「学校改革にやりがいを感じる」「来年度が待ち遠しい」「毎日学校に来るのが楽しい」という感想がほとんどであった。	
アピールポイント（アイデアや工夫）： 職員の意識変革と主体的・対話的で深い学びのある話し合い	
- 本校のカリマネは教職員が、主体的・対話的に進めたカリキュラムの創造であり、そこから深い学びが生まれる研修ともなり、これまでの教育に対する大きな反省と、新しい教育へのやる気をもった挑戦が進んでいる。 - カリマネを進め方は、学校独自のやり方でいい、時には参加を自由にしたり、部会の選択を自由にしたりしながら、無理のない日程でも抜本的な見直しにつながる意見が、活発かつ多様に出る話し合いができた。 - 職員のやる気は同時に増していき、児童の変容が平成 30 年度から見え始めたことを職員は感じている。	

※事務局記入欄

No. A-36

【様式 2】

学校教育目標『ふるさとに学び未来に向かってかがやく子どもの育成』を実現させよう

・新たに始める

・リニューアルする



「全校ブックトーク」等



「ふるさとクラブ」等

子どもたちを育てる時程に

学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
基礎学力	10:00 ~ 10:15	10:00 ~ 10:15	10:00 ~ 10:15	10:00 ~ 10:15	10:00 ~ 10:15	10:00 ~ 10:15
思考力	10:15 ~ 10:30	10:15 ~ 10:30	10:15 ~ 10:30	10:15 ~ 10:30	10:15 ~ 10:30	10:15 ~ 10:30
コミュニケーション力	10:30 ~ 10:45	10:30 ~ 10:45	10:30 ~ 10:45	10:30 ~ 10:45	10:30 ~ 10:45	10:30 ~ 10:45
自己重要感・自信	10:45 ~ 11:00	10:45 ~ 11:00	10:45 ~ 11:00	10:45 ~ 11:00	10:45 ~ 11:00	10:45 ~ 11:00
豊かな感性・想像力	11:00 ~ 11:15	11:00 ~ 11:15	11:00 ~ 11:15	11:00 ~ 11:15	11:00 ~ 11:15	11:00 ~ 11:15
目標を定める力	11:15 ~ 11:30	11:15 ~ 11:30	11:15 ~ 11:30	11:15 ~ 11:30	11:15 ~ 11:30	11:15 ~ 11:30

4 月 新職員に交代で
学校改革を説明
改革始動



↑実践例：プログラミング教育 C 分野の導入。総合「美咲町の未来とドローン宅配」

2 月 保護者説明開始
高学年未来を考える
3 年次達成計画設定

1 月 新教育課程誕生

12 月 ①地域 MIRAI ミーティング
10 月～

②加美 MIRAI ミーティング
学校ミッション改訂

学校新教育理念・目標策定

4 部会の誕生と教育課程の創造
校務分掌と会議の改革

11 月 加美 MIRAI ミーティング 2 (職員編)

カリキュラム・マネジメントにむけて
参加自由の意見交換(4つの目的部会)



MIRAI 楽力部会
幸せ人間力部会
元気生活力部会
リソースマネジメント部会

出した意見をカードにし、
それを使ってスクラップ & ビルド



「幸せを創り出す力」をつけるために、どのような教育を行うべきか、職員で意見を出し合って新しいカリキュラムを職員みんなで創造していった。

7 月 校長主催 『加美 MIRAI ミーティング』
(職員編)

～子どもたちの未来のための教育を創り出そう～
「わたしたちは、
いったいどんな教育をすれば
どんな子どもたちが育てば
満足したと言えるのだろう」

- ・夏休みに加美小学校の教育を語り合う
職員参加自由の会を設定
- ・学校を、行事や授業からではなく、
本当に育てたい力から
根本的に見直したい。
- ・職員の持っている教育への情熱を
ともに語り合うことで
同じ夢をもちたい



10 月 校長学校改革宣言



7 月 ①加美 MIRAI ミーティング
(自由参加 ほぼ全員参加)

学びに向かう力と
主体性を育む教育へ



↑改革例：リーダーを学びながら、計画や育ちを書き込める「リーダーブック」の作成と、自主性を育てる場の設定

↑目的と達成検証が重視
される会議への大幅改訂

キーワード「幸せを創り
出す力を子どもたちに」

私たちの行う
教育は
本当に
これでいいの